

第9回海老名市公共施設再編計画策定委員会次第

日 時：平成28年11月24日（木）

午前10時から

場 所：海老名市役所 政策審議室

1 開 会

2 議 題

（1）海老名市公共施設再編（適正化）計画【素案】について

（2）答申（案）について

3 その他

4 閉 会

(案)

平成 28 年 月 日

海老名市長 内 野 優 殿

海老名市公共施設再編計画策定委員会

委 員 長 藤 田 由 紀 子

海老名市公共施設再編（適正化）計画の素案について（答申）

平成 28 年 11 月 10 日付で諮問のありました標記の件について、
本委員会における審議の結果、下記のとおり答申します。

記

本件について、内容は妥当と判断します。なお、以下の項目を意見として申し添えます。

- 1 基本方針では、公共施設の抑制、削減の考え方が強く前面に出ており、福祉や子育てなどの新たな市民ニーズに対応した新規施設の整備については対応しないように見える。これでは、海老名に住みたいと思えなくなってしまう。必要なものを建て、不必要なものは廃止するのであれば、単に公共施設を減らすだけではなく、ニーズが増える分についても市民サービスの水準を確保し日常生活を担保していくような表現を盛り込み、将来に希望が持てる表現にされたい。

2 市民利用施設の整備・維持管理の「考え方」では、海老名市がどのような知恵を出したかを示すことが重要であり、ストックを再編しながら利活用していくことで結果的には削減されているストーリーが必要である。そのために、項目相互の時間軸に沿った関係性を整理されたい。

3 再編（適正化）により長期的にみた施設の保有総量を現状より20%程度抑制することとしているが、市民の理解を深めるためにも、計画で示された統廃合や多機能化を行うことによる将来費用の削減効果額も示されたい。